

## 編集後記

---

今回の特集は“周年”ものです。直近10年では、No.15（2008年）とNo.19（2012年）に続いて3回目となります。前2号の「慶應義塾創立150年」「慶應義塾図書館開館100年」とくらべれば、「湘南藤沢メディアセンターの25年」は、まだまだ若々しさがみなぎる歩みと言えるでしょう。とはいえ、この25年の間に、湘南藤沢メディアセンターの「DNA」が形作られたことは間違いありません。

今回の特集は、湘南藤沢メディアセンターの「過去・現在・未来」についての網羅的な内容に仕上がっています。冒頭の「日本で最初の「メディアセンター」」では、「実験キャンパス」であるとか「走り続ける」といったイメージが定着したこの25年の歩みが概観されています。また、湘南藤沢メディアセンターの特色である「MMLS」や「コンサルタント制度」も貴重な足跡の記録です。「現在形」の視点からは「ファブスペース」について、産みの親である田中浩也先生に執筆いただいています。また、「SFCアーカイブ」もキャンパスにおける記録資産に関わる未来志向の取り組みと言えましょう。そして、センターの今後について思いのたけを語る、井庭崇先生と4人の学生による「座談会」で「未来の湘南藤沢メディアセンター」のイメージを膨らませてみてください。

特集記事の他にも各センターでの先進的な事例や取り組み、海外研修報告などを収録しています。それぞれのシーンで本学のスタッフが得た経験が、本誌を通じて皆様とシェアできるならば、編集担当にとって望外の幸せです。

（島田 貴史）

---

### 誌名変遷

八角塔 : 1号（昭42（1967）. 7） - 6号（昭45（1970）. 3）  
KULIC (ISSN 0913-0705) : 1号（昭45（1970）. 10） - 26号（1992. 11）  
MediaNet (ISSN 0919-8474) : No. 1（1993. 11） -

---